

会社説明会 質疑応答の要約

2018年12月14日(金)に開催した「会社説明会」にて、株主のみなさまからいただいたご質問をまとめております。

Q1

サイバーエージェントとファーウェイ社との取引関係は？

取引があるとすれば、今後の戦略変更は考えているのか？

A1 回答:長瀬

現在、当社ネットワークやデータセンター等で
ファーウェイ社の機器を使用している。

価格やサービス内容等、総合的に検討し、現時点で方針転換はないが、
世の中の状況をキャッチアップしながら都度判断をしていきたい。

Q2

「Mリーグ」で、観戦者が牌譜(はいふ)を見れるようにしてくれないか？

また、試合日程についての決め方は？

A2 回答:藤田

「Mリーグ」は今年発足した麻雀のプロリーグの名称。

企業がクラブチームを持って参入し、現在は7チーム。現在は全試合を「AbemaTV」で生放送している。

牌譜(はいふ)については、今後の検討事項にしていきたい。

また試合日程は各チームによる抽選で決めている。

Q3

会社の成長には、良い人材が必要だと思う。

数年前、新卒採用の最終面接を YouTube で公開していたが、その時に採用した社員は今も活躍しているのか？

A3 回答:藤田

採用面接の放送はタブーだった。

そこで、面接者の許可を取って、当社の最終面接の様子を YouTube にて公開したが、学生に好評だった。

その時の社員は、今も活躍している。

Q4

「AbemaTV」の CM は、ユーザーを分類できるインターネットの技術を活かし、

「AbemaTV」の CM を属性により出し分けするような試みは？

その方が広告主からみて効果の高い CM になるのでは？

A4 回答:藤田

現時点でも「AbemaTV」の CM を属性に応じて出し分けるのは可能だが、規模が小さいうちに絞り込むと対象者が少なく効果が出にくい。

そのため「AbemaTV」の視聴者拡大を第一優先にし、マスメディアになった際はインターネットの技術を活かした効果的な CM 配信にしていければと思う。

Q5

「AbemaTV」は今後どのくらいまで先行投資をしていく予定なのか？

A5 回答:藤田

黒字化が目的になり、事業自体が縮小する可能性があるため

IR ではお伝えしないようにしている。

現状は累積で約 500 億円の赤字だが、売却する事業価値としては 1,000 億円以上になるだろう。

もちろん、売却する予定はないが、累計損失額以上の資産性はあると考えている。

自社でメディアを持つことは、事業として影響が大きいため、

今後も注力してやっていく。

Q6

自身の Twitter アカウントでアンケートを取った結果、
「AbemaTV」はまだ若い人が見ていない印象があるがどうか？
人気がある美容やコスメ、ダイエットの番組を増やしてはどうか？

A6 回答:藤田

10代の3人に1人は、「AbemaTV」を見てくれているという調査結果もあり、
恋愛リアリティーショーの放送をきっかけに若年層の視聴者が増えている実感がある。

韓国コスメの番組などを放送しているが、恋愛関連の番組に比べ、視聴数を伸ばすのが難しい。
今後も若年層に見てもらえるようなコンテンツ制作に注力していく。

Q7

「AbemaTV」の海外展開の予定は？

A7 回答:藤田

2019年2月頃には海外からも「AbemaTV」を視聴できるようにする予定。
当初は日本語でニュースやオリジナル番組を放送。
外国人向けのコンテンツに関しては、その後になるだろう。

Q8

昨今マナー違反者が多いと感じるが、
「AbemaTV」で政府広報CMを放送するのはどうか？

A8 回答:藤田

「AbemaTV」は、社会的な役割を果たしていきたいため、
政府との取り組みも検討していく。

※株主総会でいただいたご質問の内、議案に関連性のないものは、引き続き開催した「会社説明会」の質疑に記載しています。